

新教育課程の教材活用

「学んで思い、
思いで学ぶ教育」を■ 文部科学省初等中等教育局
教育課程課長

大槻 達也

平成 15 年 10 月、中教審は「初等中等教育における当面の教育課程及び指導の充実・改善方策について」答申した。指導時間の確保、個に応じた多様な指導方法の導入、総合的な学習の時間の一層の充実等を通じて、国民として共通に身に付けさせたいところはきちんと指導し、各学校の創意工夫あふれる特色ある教育を展開して欲しいという内容だ。

だが一部ではあるが、14 年 1 月の「学びのすすめ」以降の国の動きが、「ゆとり教育」から「学力向上路線」への転換ではないかという誤解を招いている。正確な理解に基づく批判には謙虚に耳を傾けたいが、答申や学習指導要領などの原典に当たらずに一知半解の批評も無いわけではない（もっとも、この間の行政側の説明が分かり易く十分なものであったか否かについても省みる必要がある）。風評の影響を受けるのは、地道に取り組んでいる校長・教員や子どもを学校に委ねる保護者であり、児童生徒でもある。

8 年の中教審第一次答申や 10 年の教育課程審議会答申をひもとけば、基礎・基本の確実な定着や考える力などの育成が一貫して目指されていることは明らかだ。これらを実現するための教育課程

上の「ゆとり」が 5 日制という生活上の「ゆとり」と混同されたり、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」を二項対立的に捉えてしまうことが誤解の一因とも考えられる。今、真に求められているのは、子どもたちに「知識・技能」に加え「思考力・判断力・表現力等」から成る「確かな学力」をはぐくむことだ。

「学んで思わざれば則ち罔（くら）く、思いで学ばざれば則ち殆（あやう）し。」（論語為政篇）という孔子の言葉が想起される。知識・理解の上辺をなぞるだけで自分で考えることをしなければ本当に分かったことにはならず、知識・理解がきちんと定着していなければ思考力・判断力・表現力等もおぼつかない。およそ二千五百年後の今日でも、「学んで思い、思いで学ぶ教育」が求められていることに変わりはない。

今回の答申は今次教育改革の趣旨を一層徹底するものでこそあれ、その転換を図ろうとするものではない。また、不断の見直しも 7 年も前からの既定方針である。学校関係者におかれては、「分かる授業」を行い学習意欲を高めるなど、現在取り組んでいる教育の改善・充実を安心して積極的に進めていただきたい。

平成16年度 文部科学省概算要求【1】

— 初等中等教育局主要事項 —

(単位：百万円)

事 項	15年度 予算額	16年度 概算要求額	比 較 増減額	備 考
1.義務教育費国庫負担金	2,657,066	2,689,133	32,067	負担率1/2
2.公立養護学校教育費国庫負担金	130,789	131,933	1,144	〃
3.新教育課程の実施推進 《学力向上アクションプランの推進》	3,943	5,630	1,687	
①学力向上支援事業(新規)	0	678	678	
②総合的な学習の時間推進	2,276	1,879	▲ 397	
4.豊かな心の育成 《道徳教育の充実と奉仕・体験活動》	1,104	1,879	775	
①体験活動推進地域	294	285	▲ 9	47地域
②地域間交流推進地域	86	63	▲ 23	47地域
③長期宿泊体験推進校(新規)	0	99	99	
④児童生徒の心に響く道徳教育推進事業	649	579	▲ 70	
5.英語教育の改善				
①スーパー・イングリッシュハイスクール	234	1,117	883	
②高校生の留学促進	116	105	▲ 11	100校
6.情報教育の推進・整備				
①IT活用推進プラン(新規)	0	993	993	
②高度教育用ネットワーク利用環境整備事業	2,178	993	▲ 1,185	
7.学校図書館の充実				
①学校図書館活用推進事業	4	4	0	
②学校図書館資源共有型モデル地域事業	0	688	688	
8.科学技術・理科教育の振興				
①スーパーサイエンスハイスクール	1,186	1,720	534	70校
②理科大好きスクール	246	232	▲ 14	
③理科教育等設備整備費補助	1,350	1,350	0	
9.環境教育の推進				
①環境教育推進グリーンプラン	94	101	7	
②豊かな体験活動推進	381	449	68	
③屋外教育環境整備	57	57	0	
10.産業教育の振興	1,498	1,598	100	
11.特色ある学校づくり				
①中校一貫教育の充実	115	100	▲ 15	

(注) 平成15年度金額は決定予算額、平成16年度金額は概算要求額。



先生のための「新しい教育機器・教材導入ガイドブック」完成!!

このたび教育3団体【(社)日本教材備品協会、(社)日本教育工学振興会、(財)日本視聴覚教育協会】では教材機能別分類表に対応した機器の紹介と使用実践例16点と教材の紹介と使用実践例19点合計35品目を掲載したガイドブックを発刊した。このガイドブックは名前の通り機器・教材を先生が十分に理解して授業の場でお使いいただくための操作の手順や導入の参考例を示したものである。定価1800円でそれぞれの団体を通して販売される。

販売窓口：(社)日本教材備品協会 FAX：03-3509-1935

平成16年度 文部科学省概算要求【2】

－ IT関連予算について －

(単位：百万円)

事 項	15年度 予算額	16年度 概算要求額	比 較 増減額
平成16年度文部科学省IT関連予算	1,700 億円	1,340 億円	▲ 360 億円
1.学校教育分野の情報化 〈子どもたちの情報活用能力の育成、わかる授業の実現〉	20,238	22,839	2,601
①IT活用の総合的推進(新規) 高速インターネットやコンピュータ、校内LANなどの学校におけるIT環境を最大限に活用し、民間事業者による教育用コンテンツの流通促進、学校と家庭とのコミュニケーションにおけるIT活用などを積極的に推進する。	0	993	993
②教育用コンテンツの充実・普及 良質な教育用コンテンツの開発や、教育用コンテンツの活用実践事例の収集／提供等により、学校教育分野における教育用コンテンツ活用を推進。	987	1,679	692
③教育情報ナショナルセンター機能の整備	111	205	94
④教員の指導力向上	1,479	2,073	594
⑤公立・私立学校におけるIT環境の整備等 校内LAN、高度な教育用ネットワーク等の学校におけるIT環境を整備する。	17,581	18,578	997
2.専門的な知識又は技術を有する創造的な人材の育成	32,521	30,332	▲2,189
①実践的かつ創造性豊かなIT人材育成拠点の整備	5,530	217	▲5,313
②大学等におけるIT基盤の総合整備	26,416	28,680	2,264
3.渉外学習分野の情報化 〈IT活用による多様な学習機会の提供〉	10,995	11,786	791
①社会教育施設のIT環境の整備	1,089	1,135	46
4.次世代の知を生み出す研究開発及び基盤整備の推進	44,659	62,888	18,221
5.芸術・文化分野の情報化	539	1,210	671
6.「情報化の影の部分」への対応	4,575	4,834	259
①心のケアへの対応	4,262	4,486	224
②「デジタル・デバイド」の防止・解消	288	288	0
7.行政の情報化の推進	643	1,064	421
①電子政府の早期実現	403	847	444

(注) 平成15年度金額は決定予算額、平成16年度金額は概算要求額。



先生のための「研修メニュー」が完成!!

このたび社団法人日本教材備品協会は分野ごとに専門家が講師を勤める研修メニューを作成いたしました。研修メニューは12のテーマを選択して先生方に使用方法を講習しましょうーというものです。メニューは教材機能別分類表に基づく例示品目の中から選択されており先生方の関心ある品目が選定されています。

研修のお申込：(社)日本教材備品協会 FAX：03-3509-1935



「総合的な学習」と「教材」

～目的に対応した弾力的・効果的な教材整備を～

■ 全国連合小学校長会理事
東京都公立小学校長会副会長
東京都三鷹市立第四小学校長

貝ノ瀬 滋

現在、どこの学校でも「総合的な学習の時間」が実施され、大きな関心を呼んでいる。しかし、体験的な学習の重要性が強調され、身体で覚えると知的定着度は情意面も啓発され、より高くなるという方法論の意味が強まり、何のための体験かが忘れかけている現状が見られる。体験的な学習も学習の手段の一つであり、目的ではないのだが、ただ体験的な学習や活動をさせっぱなしの総合的な学習が多い。

本校の総合的な学習の実践の一つに「アントレ・プラン」がある。これは、21世紀に生きる今の子どもたちに必要な能力、国は「生きる力」と言っているが、私は「人間力」と言い換えている力を育てる学習である。

「起業教育」と訳すが、必ずしも企業家育成やベンチャービジネスのための教育ではなく、「企業家精神に基く教育」という意味である。

その企業家の能力は、独立心、粘り強さ、チャレンジ精神、リスク管理能力、指導力、企画力、発表力、交渉力など「人間力」の源泉となる力なのである。

このような教育は、高校卒業からでは遅く、できれば

幼児や小学校段階から、発達段階を考慮しながら計画的に行うことが大切である。今、我が国には四百万人のフリーターが存在している。子どもたちに、自分なりの職業観、勤労観をもたせると同時に、夢や希望を目指して生きることの大切さを学んで欲しいと願う。

このような子どもたちが真に求める総合的な学習の時間に対応できるよう、国は平成14年度、教材整備計画を作成したところである。平成14年度から5年間で総額4,300億円、単年度では860億円が地方交付税で措置されている。そして、文部科学省より新しい教材整備に対する考え「教材機能別分類表」が公表されているのである。

本校においても「教材機能別分類表」の考えを十分生かし、新たに必要となる教材の観点を大切にしながら総合的な学習の時間や各教科等の教材の準備を進めているところである。

総合的な学習の時間を効果あらしめるには、その目的に対応した弾力的・効果的な教材整備を図ることも大切である。

JEMA ホームページにアクセスを!

URL <http://www.jema.or.jp>

●先生方に役立つ情報を掲載しました。内容は随時更新していきますので、積極的なご利用をお待ちしております。

あとがき

●この「教材情報」は、全国の小中学校、教育委員会並びに教育関係機関に各県支部会員を通じて届けられております。協会では、より充実した情報の提供と、親しまれる紙面づくりを志向して参ります。皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

《会員名》

発行

社団法人 日本教材備品協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1
第5森ビル9F

TEL. 03 (3509) 6898 FAX. 03 (3504) 1935
URL <http://www.jema.or.jp>